

日本学術会議
若手アカデミー会議(第25期・第3回)

議事要旨

日 時 令和4年9月6日(火) 8:00~10:00
会 場 那須高原TOWAピュアコテージ イベント館及びオンライン会議システム併用

出席者 石川、今田、入江、岩崎、岩永、岩村、上村、遠藤求、遠藤良輔、小野、加藤、川口、岸村、木村、小森、近藤、坂井、實藤、標葉、新宅、新福、相馬、田井、高瀬、高田、高槻、武田、田中、土屋、寺田、遠野、中島、中西、平田、藤岡、松中、南澤、森、安田、山田

参考人 留目真伸氏(一般社団法人ナスコンバレー協議会理事、SUNDRE 株式会社代表取締役)、柿沼 緑氏(日本放送協会)

その他出席者 望月副会長

議 事

(1) 望月副会長挨拶

望月副会長から開会にあたって挨拶があった。

(2) 若手アカデミーのこれまでの活動について

議題(2)について、平田会員から「学術の未来を担う人材育成分科会」について、川口会員から「学術界の業界体質改善分科会」について、石川会員から「越境する若手科学者分科会」について、入江会員から「国際分科会」について、加藤会員から「地域活性化に向けた社会連携分科会」について、高瀬会員から「イノベーションに向けた社会連携分科会」について、新福会員から「GYA 総会国内組織分科会」について、高田会員から「情報発信分科会」について、それぞれ資料1にもとづいて報告が行われた。

(3) 25期若手アカデミー・ビジョンについて

(4) 若手アカデミーの今後の活動について

議題(3)と議題(4)について一括して審議した。

議題(3)について、岩崎代表からこれまでの活動の全体について説明があり、引き続いて、増子参事官(日本学術会議事務局)より参考資料4-1にもとづいて公開シンポジウム等および意思の表出の手續および留意点について説明がなされた。

議題(4)について、岩崎代表から、Slackの有料化への対応について対応が必要であり、

運営分科会で検討する旨の説明がなされた。また、若手アカデミーの継続した活動のための若手アカデミー運営要綱第3第4項の改正の必要性の説明があり、運営分科会において今後検討する旨の説明がなされた。

小野幹事と高瀬会員から、資料2にもとづいて、予定している意思の表出について説明がなされた。

(5) ナスコンバレーおよびNHKシチズンラボについて（話題提供）

留目真伸氏（一般社団法人ナスコンバレー協議会理事、SUNDRE 株式会社代表取締役）からナスコンバレーについて柿沼緑氏（日本放送協会）からNHKシチズンラボをはじめとするNHKのシチズンサイエンスの取組みについて情報提供をいただいた。

(6) その他

小野幹事から、日本科学振興協会（JAAS）の設立について紹介がなされた。